



射水商工会議所報

射水産学官交流会
(2月6日)
挨拶する牧田会頭▶



基調講演 (2月6日)
講師の富山県立大学石塚学長▼



射水産学官交流会 開催

産学官相互の特徴を活かし課題解決へ

Contents

2p

- 東北から全国へ●
東北六県商工会議所連合会
鎌田会長挨拶
遊休機械無償マッチング支援

3p

- 先月の事業 Pick up●
射水産学官交流会
射水市きらりカンパニー顕彰
主な今後の動き～イベント情報～

4p

- 食彩しんみなど
射水市合同企業説明会
BJリーグ観戦交流
S級グルメ
射水圏政経懇話会

5p

- 女性会だより●
会員相互の交流を深める
- SERIES●
トレンド通信
「10年後のお客さんの姿を想像してみよう」

6p

- インフォメーション●
金融関係
検定試験
小規模事業者経営改善資金融資制度
～ご注意ください！～確定申告
平成26年度前期技能検定
高岡法人会からのお知らせ
厚生労働省からのお知らせ
協会けんぽからのお知らせ

8p

- キラリしんみなど●
株式会社 荒木運輸
代表取締役社長 荒木 一義 氏

東北から全国へ

～東北六県商工会議所連合会 鎌田会長挨拶～
震災から3年。全国からの継続的なご支援に深く感謝申し上げます。



東北六県商工会議所連合会
 会長 鎌田 宏

日本商工会議所はじめ射水商工会議所会員の皆様方には、震災発生直後から義援金や救援物資の提供、経営指導員の派遣、遊休機械の無償提供など、物心両面にわたるご支援を通じて復興への大きな後押しをいただいておりますことに対し、改めて東北六県の被災地商工会議所を代表し御礼申し上げます。

早いもので、この3月で震災から3年が経過し、被災地の復興も徐々にではありますが目に見える形で進みはじめています。その一方で、地域により抱える課題は異なり、進捗状況にも格差が生まれていることも事実であります。

今もなお約14万人が故郷に帰ることができずにいる福島県では、県民が安心して生活するために最も重要な除染作業が進んでおらず、当該地域の事業者はいまだ事業再開のスタートラインにさえ立つことが出来ない現状です。

また、津波被害の大きかった宮城・岩手両県の沿岸部では、沈下した土地のかさ上げや防潮堤の建設も遅々として進んでおりません。労働力不足・資材価格高騰などの直接的要因に加え、地権者数が膨大なことや、地域によっては区画整理事業の見直しを求める声が高まるなど、時間の経過とともに課題も複雑に変化しており、迅速な対応が求められています。

このような中で、東北楽天ゴールデンイーグルスの日本一達成や、2020年オリンピック・パラリンピックの東京開催決定など、スポーツを通じて被災地が勇気づけられるニュースが続きました。私どもとしても、五輪誘致にあたり東京開催の意義の一つに掲げられた「震災からの復興」が加速的に進むよう、東北が一丸となって復興と福島の再生に尽力して参る所存です。

そのためには経済の復興が不可欠であります。震災で失った販路の回復や風評被害払拭・風化防止という課題の解決に向けて、商談会や交流人口拡大のための事業を実施いたします。地域と企業に活力をもたらす施策を実行し、真の復興のため一日も早く地域経済が再生できるよう、日本商工会議所ならびに全国514商工会議所の皆様のお力添えをいただきながら奔走してまいりたいと存じます。

射水商工会議所の皆様におかれましては、被災地の現状へのご理解と、従前同様引き続きの温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。感謝のことばとさせていただきます。

商工会議所の総力をあげて、被災地の復興に向けた必要な対策を実行してまいります。
遊休機械無償マッチング支援プロジェクト重点募集品目

				
				

商工会議所では、東日本大震災による津波などで機械等を流失・損壊した事業者の復興支援を図るため、全国各地の事業者から遊休機械等を無償で提供いただき、被災事業者の要望とのマッチングを行う「遊休機械無償マッチング支援プロジェクト」を実施しています。現在、使用せずに眠っている機械等、入れ替えで不要になる機械等を被災地の事業所の支援に無償でご提供ください。

詳しくは、本所まで84-5110

2/6

産学官連携で ビジネスチャンスを探る

▶産学連携の共同研究射水産の竹炭を使用した「ささやきコーヒー」を味わう参加者



射水産学官交流会を第一イン新湊で開催。市内の企業や教育機関、行政などから約100名が参加し、産学官連携で互いが抱える課題解決やビジネスチャンスを探るべく、情報交換を行いました。牧田射水商工協議会会長(本所会頭)の挨拶に始まり、夏野射水市長より祝辞を頂戴しました。基調講演では、富山県立大学 学長 石塚勝氏(平成25年4月より就任)を講師に迎え、「産学官連携の取り組みについて」と題してご講演いただきました。

引き続き交流会では、産学連携の共同研究による「ささやきコーヒー」の試飲コーナーが設けられるなど、参加企業による事業紹介や、各学校、中小企業支援機関等との活発な情報交換が行われました。

2/6

ケーファクトリー(株)に顕彰盾 射水市きらりカンパニー顕彰

▶受賞されたケーファクトリー(株)の鍛冶社長(写真左)



平成25年度射水市きらりカンパニー顕彰の表彰式が第一イン新湊において行われ、ケーファクトリー(株) 代表取締役鍛冶英樹氏(射水市七美)が受賞され、牧田射水市商工協議会会長(本所会頭)より顕彰盾が贈られました。ケーファクトリー(株)は、主にビル建築のアルミパネルの製造を行っており、壁面ソーラーパネルの商品開発等、積極的な新商品開発への取り組みなどが評されました。

今回で第3回となるきらりカンパニー顕彰は、射水市内で「きらり」と光る技術や製品で飛躍する企業を選び、優良企業として称え、経営意識の向上や新たなビジネスモデルの構築につなげることを目的として、射水市商工協議会(構成:本所、射水市商工会)が毎年実施しています。

予定

主な今後の動き イベント情報

<会議所> 主な今後の動き

3/1 土	本所青年部納会
3/2 日	自衛隊入隊・入校予定者激励会
3/3 月	射水市総合計画審議会
3/4 火	新湊商店連合会役員会・懇親会
3/5 水	公害健康被害補償業務委託商工会議所担当職員研修会
3/6 木	富山県高岡地域産業保健センター運営協議会射水市商工協議会役員会
3/7 金	事業関連部会「全体懇談会(懇親会)」
3/13 水	正副会頭会議・PL連絡会議 伏木富山港港湾利用者意見交換会
3/14 金	総務委員会
3/15 土	富山情報ビジネス専門学校卒業証書授与式 新湊高校野球部後援会総会
3/16 日	新湊カモンスポーツクラブ 創立10周年記念祝賀会
3/18 火	専門技術部会視察(～19日まで) 女性会役員会
3/26 水	小規模事業者経営改善資金審査会 本所青年部委員長連絡会議
3/27 木	常議員会 通常議員総会
3/29 土	浅野総一郎翁ゆかりの地・商工会議所会頭交流会 呉松福一氏叙勲受章祝賀会
3/30 日	県道姫野能町線(牧野大橋)修祓式・開通式 射水青年会議所創立10周年記念式典・祝賀会

<新湊地区> イベント情報

■海王バードパーク■ 問合せ先: 伏木富山港・海王丸財団(TEL 82-5181)	
3/2 日	探鳥会と野鳥講演会
■高周波文化ホール■ 問合せ先: 高周波文化ホール(TEL 82-8400)	
3/11 火	ふれあいの音コンサート2014 「絆」inいみず
3/16 日	春のいぶきコンサート2014

注) 上記は予定であり、都合により変更になる場合もございますのでご容赦ください。



先月の事業 pickup

2/8 食彩しんみなと 22店舗が参加



新湊で水揚げされた旬の食材を使用し、各参加店がオリジナルメニューや期間限定メニューを提供し、新湊の食をPRするイベント「食彩しんみなと」が2月8日から28日の21日間にかけて開催され、賑わいの内に終了しました。今回はすし店、割烹等の飲食店19店舗、特産品販売店3店舗の計22店舗が参加。カニの食べ比べや食べ放題を実施する店舗や、旬のカニ・シロエビをふんだんに使った特別メニューを提供するなど、各店舗が趣向を凝らし、イベントを盛り上げました。各参加店を訪れたお客様からは、新湊の美味しい食や温かいおもてなしに大満足の声が聞かれました。

2/19 市内企業20社と学生76名が参加 射水市合同企業説明会



射水商工会議所、射水市、射水市商工会、ハローワーク高岡で組織する射水市雇用対策推進協議会（米田秀樹会長：本所副会頭）が主催し、射水市合同企業説明会を開催しました。市内に事業所を有する企業20社と、県内外から76名の学生が参加しました。

参加した学生は、各企業の採用担当者の説明を熱心に聞いていました。

2/23 射水・千曲両市両経済界の BJリーグ観戦交流



本所が友好提携を結んでいる千曲商工会議所ご協力の下、BJリーグ（プロバスケットボール）観戦交流事業を実施しました。当事業は、昨年4月千曲市でのBJリーグ公式戦観戦交流に続き、2回目となりますが、今回から両地区の商工会を加え、両市の市長・市議会議員、両商工会議所の会頭を始め関係者約60名が参加し、新湊アイシン軽金属スポーツセンターで行われた「富山グラウジーズVS信州ブレイブウォリアーズ」戦を観戦後、意見交換会・交流懇親会を本所で実施。北陸新幹線開業を控え、両市のさらなる連携が期待される中、情報交換や親睦を深める良い機会となりました。

2/26 射水の食材を 山根流イタリアンで食す

射水S級グルメ発掘・発信事業実行委員会（米田秀樹委員長）による「食彩いみずイタリアーナ食事会」を第一イン新湊で実施。射水産の食材を使用したスペシャル料理をイタリアンの巨匠山根大助氏にプロデュースしていただきました。参加者からは、山根氏の斬新なメニューと技が光る射水の味覚に感嘆の溜め息が聞かれました。



2/27 辛坊治郎氏講演会を開催 射水圏政経懇話会

第一イン新湊にて射水圏政経懇話会全体例会が開催され、辛坊治郎氏（元 読売テレビ解説委員長）を講師に迎え、「政治・経済～情報のウラを読む～」と題して講演会が行われ、約400名の参加者が聴講しました。引き続き行われた懇談会では、夏野市長はじめ会員間の活発な意見交換・交流が行われました。



会員相互の交流を深める ～新年会・視察研修会を実施～



当女性会の新年会を2月16日(日)片山津温泉「加賀観光ホテル」において、牧田会頭、米本専務理事を来賓に迎え、会員21名が出席し盛大に開催しました。

木谷会長より挨拶。牧田会頭の来賓挨拶、米本専務理事の乾杯発声後歓談し、ゲームや踊り料理を楽しみ能登顧問の中締めで大宴会を閉じました。

翌17日(月)「㈱ヤマト醤油・味噌」の視察研修会を行いました。明治44年に創業し、昔に職人が作った木桶を使って製造される味噌作りに日本人の知恵、日本人が育んできた醸造文化を再認識しました。その後、味噌汁作りを体験。女性会会員皆様の手際の良さに係りの方はびっくりされる場面もありました。

その後、併設される発酵食美人食堂で素材を厳選し、地元でとれた野菜、魚を身体が喜ぶ順番で賞味しました。塩糶ドレッシングのレシピの確認を行うなど、主婦の顔も見受けられ、日本人の知恵、文化の継承が再認識でき良い企画であったという声が多く聞かれました。2日とおし会員相互の親睦がより深まりました。

SERIES

トレンド通信

「10年後のお客さんの姿を想像してみよう」

ある住宅関連の会社から「10年後の働く女性の環境はどうなっているか?」という質問を受けました。少子化との関係もあり、ワーキングマザーについて特に興味があるようでした。

どんな姿で働いているかを考えるより前に、その人たちはどういう人なのかを考えてみました。10年後の2024年に0歳から6歳の子供がいる人だと仮定しましょう。統計によれば、いま女性が第一子を出産する平均年齢はちょうど30歳ぐらいです。この値は年々上昇しており、10年後では32歳から33歳になっているはず。そう考えると10年後のワーキングマザーは現在22歳から28歳、もう少し幅を広げて、いまの20歳代と考えるとよいでしょう。

実は、いまの30歳代半ばから40歳(団塊ジュニアの下、いわゆるロスジェネ世代)と、20歳代(ゆとり世代からさとり世代)の女性では仕事や生活のベースとなる考え方がかなり違います。さらに人数も大きく減少します。

若い世代の考え方をオーネットが毎年実施している「新成人意識調査」から拾ってみます。まず、実際相手がいない女性が7割、男性では8割にも

なります。何事も高望みしない「さとり世代」で、仕事についても責任感や使命感がとても薄い傾向があります。親子関係は良好ですが、特に親のようになりたいと望んでいるわけでもありません。

いまのワーキングマザーの中心世代である30代では、全体として自己承認欲求が強く、仕事に対しても報われていないが責任は強く感じているようです。仕事と家庭の両立を何とかしたいという意識も強い。団塊世代の母親から大きな期待を受けて育ったという関係性が影響していると私は考えています。

全体的に「戦う」意識が強い30代に対して、20代は「おっとり」しているともいえます。経済状況など予測できない要素もありますが、たとえば住まいに関しても求める条件はずいぶん違ったものになるでしょう。残業してでも昇進を目指すような働き方をするのか、教育に関してはどう考えるのか、親との同居はどうか、住宅にける金額はどうかなどです。

さて、私たちはそれぞれ仕事を通じて世の中の消費市場とつながっています。今回のテーマのように同じ「ワーキングマザー」といっても、その条件だけで姿が正確に見えるわけではありません。たまには自分のビジネスの関係するお客さんの10年後の姿を考えてみるのはいかがでしょうか。そうすることによって、いま自分が向き合っている顧客のニーズがもっとはっきり見えてくると思います。

日経BPヒット総合研究所 上席研究員
渡辺 和博

インフォメーション

金融関係
金融関係

主な公的融資制度の利率

(平成26年3月1日現在)

資金名	利率(年)
日本政策金融公庫 (国民生活事業)	マル経融資 1.60% 普通貸付 1.45~3.65%
富山県	小口事業資金 2.00%
射水市	中小企業振興資金 2.00%

日本政策金融公庫
定例相談会

アドバイザー等	開催日時
高岡支店国民生活事業 ・小口の事業資金融資 ・創業支援・地域活性化支援 ・国の教育ローン、恩給・共済年金等を担保とする融資	3月18日(火) 13:00~15:00
富山支店中小企業事業 ・中小企業への長期事業資金の融資 ・国の中小企業政策に基づいた支援	3月27日(木) 13:00~15:00

相談会場 射水商工会議所 1階相談室

■ご利用の方は、相談所まで事前にご予約下さい。TEL 84-5110

検定試験
検定試験

《平成26年度の試験施行日》

●簿記検定

級	回数	試験日	受付期間
1~4級	第137回	平成26年 6/8(日)	4/16(水) ~5/9(金)
	第138回	11/16(日)	9/26(金) ~10/17(金)
2~4級	第139回	平成27年 2/22(日)	1/6(火) ~1/23(金)

簿記検定 受験料

1級 : 7,710円 2級 : 4,630円
3級 : 2,570円 4級 : 1,640円

●珠算能力検定

級	回数	試験日	受付期間
4~10級		平成26年 4/13(日)	2/24(月) ~3/13(木)
1~10級	第201回	6/22(日)	4/14(月) ~5/22(木)
4~10級		8/3(日)	6/16(月) ~7/3(木)
1~10級	第202回	10/26(日)	8/18(月) ~9/25(木)
4~10級		12/14(日)	10/20(月) ~11/6(木)
1~10級	第203回	平成27年 2/8(日)	12/1(月) ~1/8(木)

珠算能力検定 受験料

1級 : 2,100円 2級 : 1,570円
3級 : 1,360円 4~6級 : 940円
7~10級 : 840円

●申込み・問合せ先

射水商工会議所 TEL 84-5110
ホームページからお申込みできます!

祝 小規模事業者経営改善資金融資制度創設40周年

小規模事業者の皆さまを対象とした無担保・無保証人で低金利の融資制度である小規模事業者経営改善資金(マル経融資)が創設40周年を迎え、日本政策金融公庫高岡支店の仲保吉正支店長より本所米本専務理事に感謝状が贈呈されました。

本所では、今後も引き続き小規模事業者の経営改善の一助となるよう、マル経融資制度の普及・推進に努めて参ります。随時、ご相談を受付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

本所中小企業相談所 TEL 84-5110まで。



◆◆ご注意ください!◆◆

確定申告の提出はお済みですか?

「毎年届いていた確定申告書類が届かない」というお問合せが本所へ多く寄せられています。確定申告が必要な方にも申告書類が送られていない場合があります。

確定申告が必要な方は、お早めに税務署または本所までご連絡ください。申告書類は国税庁ホームページからもダウンロードできます。

確定申告の提出期限は

所得税及び復興特別所得税

平成26年3月17日(月)まで

消費税及び地方消費税

平成26年3月31日(月)まで

平成26年度 前期技能検定

平成26年度の前期技能検定は、次の職種について実施されます。皆さんが日頃の技能の練磨に努力された結果を計る絶好の機会です。あなたもチャレンジしてみませんか。

●検定職種

《1級・2級・単一等級》

造園、鋳造、金属熱処理、機械加工、放電加工、金属プレス加工、鉄工、建築板金、めっき、アルミニウム陽極参加処理、仕上げ、ダイカスト、電子機器組立て、建設機械整備、婦人子供服製造、家具製作、建具製作、印刷、プラスチック成形、石材施行、とび、左官、ブロック建築、タイル張り、防水施工、内装仕上げ施工、熱絶縁施工、サッシ施工、化学分析、表装、塗装、路面表示施工、フラワー装飾。

《3級》

園芸装飾、造園、金属熱処理、機械加工、機械保全、電子機器組立て、化学分析

●受検申請書の受付

平成26年4月7日(月)～4月18日(金)

●問合せ・受検申請書の提出先

富山県職業能力開発協会 技能検定課
富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル 2F
TEL 076-432-9887

公益社団法人 高岡法人会

税経セミナー

■日時 平成26年3月13日(木)
14:00～15:30

■場所 高岡商工ビル 4F研修室

■講師 経営コンサルタント・ファイブ・コンサルティング代表
五十嵐 博一 氏

■演題 「東日本大震災から学ぶ
中小企業の企業防衛」

■入場無料

(事前に電話にて申込みをお願いします)

■申込・問合せ先

公益社団法人 高岡法人会

TEL 23-8855 FAX 26-1216

～厚生労働省からのお知らせ～

財形貯蓄をされている中小企業にお勤めの皆様へ

財形持家融資制度が使いやすくなります!
中小企業勤労者貸付金引き下げ特別措置が実施されます。

平成26年4月から平成27年3月までの
(※1)財形持家融資(※2)新規申込み分より、中小企業(常用労働者が300人以下)にお勤めの方は、通常金利より0.2%引下げた貸付金利(当初5年間)で融資します。

※1: 申込み状況等により、上記期間内において当該措置を終了する場合があります。

※2: 財形持家融資制度のご利用にあたっては、会社に当該制度が導入されている必要があります。この融資制度を「転貸融資」といい、独立行政法人勤労者退職金共済機構が実施します。

○詳しくは下記へお問い合わせください○

独立法人 勤労者退職金共済機構

<http://www.zaikei.taisyokukin.go.jp/>

TEL 03-6731-2935

●協会けんぽ富山支部の保険料率について●

平成26年度の健康保険料率は据え置きますが、介護保険料率は変わります。

【健康保険料率】9.93%

【介護保険料率】1.72%

▼健康保険料率については、昨年、健康保険法等が改正されたことを踏まえ、準備金を取り崩すことにより据え置きます。

▼介護保険料率については、介護給付費が年々増加しているに伴い、協会けんぽが負担しなければならぬ額(介護納付金)も増加するため、本年3月分(4月納付分)より引き上げをお願いせざるを得なくなりました。

▼厳しい経済状況の中ではありますが、加入者・事業主の皆さまにはこのようなご負担につきまして、何とぞご理解をいただきますようお願い申し上げます。

■お問い合わせ先

協会けんぽ富山支部 TEL 076-431-6156

キラリ しんみなと

このコーナーでは、世界で活躍する企業、オリジナル商品がすごい企業などキラリと輝く射水市のがんばる企業をご紹介します。

第23回は、**(株)荒木運輸**です。同社は、全車両にデジタルタコグラフ(以下、デジタコ)※を装着した上で、速度抑制による安全運転、アイドリング・ストップなど様々なエコ活動を実践し、平成23年には環境省主催のエコドライブコンテストで優良賞を受賞されています。また、代表取締役社長 荒木一義氏は、本所の議員や、富山県トラック協会青年部会の会長を務め、今年度は全日本トラック協会 青年部会副部会長にも選任されるなど、業界の活性化に向け、精力的に取り組まれています。コンテスト受賞までの経緯や、業界への想いなど、荒木社長にお話を伺いました。

※ 運行記録計の一種で車両の運行にかかる速度・時間等を自動的にメモ리카ード等に記録する装置。

社員のための環境づくり

Q & A

Q. エコドライブコンテスト受賞までの経緯

A. これまでもデジタコの導入など、自社活動は実施していたが、どうしてもトップダウンに偏りがちだった。ドライバーの自主性を養うきっかけづくりと、全国から12,224事業所が参加する中で、中小企業でも受賞できれば業界の励みになると思い参加を決意した。初年度の燃料削減効果は約57,393ℓ。環境への責務を果たすことはもちろんだが、ドライバーから「身体が楽になった」という声が聞けたのが嬉しかった。ゆっくり発進・ゆっくり停止を徹底し、スピードを落とすことでドライバーが体感する危険度やストレスが減り、事故抑制にも繋がった。

Q. 社員教育で心がけていること

A. 社員のお陰で事業が成り立つ。社員のための環境づくりが自分の仕事だと思っている。必ず行っているのが、半期に1度の個別面談と毎月の社員からのコメントへの返事。良い社員ほど愚痴を言わずに溜め込み、離職に繋がるという悪循環が起きる。体調、家庭のこと、何でも気にかけて話を聞くようにしている。毎月ドライバーにお願いしている会社へのコメントも、初めの頃は書いてもらえなかったが、全てに返事を書き、今では社員からの要望でコメント大賞を設けるほど定着してきている。事務所に玄関が2つあるのも、社員から「玄関が職員の靴で溢れるのはお客様に失礼では？」という意見から実行した。社員の意識が高くなり、自発的に行うということを大切にしている。

Q. 今後の展望

A. 事業拡大を目指して取り組んできた創業者である先代のお陰で、今があると思っている。自分は2代目として、同じ方法ではないが、無駄を省き、社員の意見に耳を傾け、事業を承継するために前へ前へと進めていく。運輸業界に関しても、自分を育ててくれたのはこの業界であり、自社の未来を考え、業界を少しでも活性化するため、「共生・協生・強生」の精神で積極的に取り組んでいきたい。

インタビューを終えて

原油価格の高騰や、景気悪化による荷動きの減少、荷主側のコスト削減など、運輸産業を取り巻く環境は大変厳しく、荒木社長によると同業者の8割近くが「自分の事業に誇りはあるが、事業承継はできない」と考えているそうです。そんな中、はっきりと「息子につがせてやりたい」とおっしゃったのが、とても心強く感じました。質上交渉にも取り組み、次に繋げるための変革に日々邁進されている荒木社長。ご自身がそうであったように、その背中を見て育つ息子さんにも日本経済を支える『信念』がしっかりと伝わっていると思います。



▲初代社長(元本所副会頭)の写真と一緒に。「今があるのは先代のお陰」と話す荒木社長。

会社概要

社名	株式会社 荒木運輸
住所	射水市松木335
設立	昭和53年10月
代表者	代表取締役社長 荒木 一義
従業員数	80名
資本金	3,000万円
事業内容	

1. 貨物自動車運送事業
2. 自動車運送取扱事業

掲載企業募集中

問合せ先：射水商工会議所
土田 (TEL 84-5110)

地元消費で、 街を元気にしよう!

~楽しいお買い物は地元の商店で~

地域の皆様に、地元新湊の商品・生産品が愛用され、育てていただくことが、豊かな地域づくりの根源です。